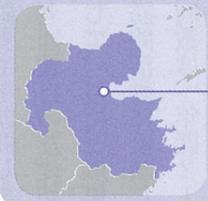




ポイントは、 クラブの減少ストップと復活

大分県 別府市老人クラブ連合会

- クラブ数 79クラブ
- 会員数 3911名 (男性1437名、女性2474名)



大分県
別府市

別府市老連では、会員増強運動について「クラブの減少防止」を目標に取り組みました。平成15年度の17校区、123クラブ、会員数6529人をピークに、29年度現在では16校区、79クラブ、3911人と大幅な減少をしています。加入率も大分県内ワーストワンで、市老連からの脱退による減少が問題です。このことから、校

市老連クラブ数・会員数の推移

年度	クラブ数	会員数	対前年増減数
25	81	3,883	—
26	75	3,857	-26
27	78	3,924	+67
28	78	3,881	-43
29	79	3,911	+30

組織力を強化、 情報を会員まで届ける

月1回開催する役員会（企画会議）、連絡会議（校区会長・女性部長会議）で月ごとの行事等を決定して、その後校区ごとに開催する単位会長会議で、単位クラブ、会員まで周知し、行事への参加申込みなどの集約を校区

一番人気 「高齢者福祉バス」の受託

別府市の「高齢者福祉バス運行事業」は、会員が日帰り研修旅行にバス代無料で参加できる、人気の高い魅力的なものです。市老連は市に働きかけて平成21年度から事業を受託、民間委託時に比べてより多くの会員が参加できるようになりました。

多くの校区会長による市老連「福祉バス部会」で、校区ごとの年間利用計画を立てます。



青空の下、うたごえが響く

市老連未加入クラブには情報が入りにくく、「会員の希望する研修旅行を実施したいから」と市老連に復活するクラブが出ています。また市老連主催で市内全域を対象にした福祉バス旅行もあり、毎年希望者が多く対応しきれないほどです。このような楽しい行事の情報を実際に会員まで届けることで、クラブ・校区のきずなが強くなり、事務局も情報収集ほか事務連絡等で支援をしてクラブとのつながりが深くなっています。

いきいきウォーキングで 魅力アップ

平成22年度からは市老連「いきいきウォーキング事業」をスタートし、行事繁忙期と厳寒期を除く年10回、市内各地の魅力発見ウォーキングを実施しています。健康づくり事業として「体育部」が担当、校区会長や単位クラブ会長の協力により、ウォーキングを通して住み慣れた地域の魅力を再発見でき、他地域の仲間との交流も深まります。うたごえや食事などの行事をプラスしたり、また新たに郊外へのバス利用ウォーキングも加わり、参加者が増えています。これらは近隣の未加入高齢者への声かけにより会員増強にもつながっています。



会員増強の事例発表会

単位で行います。

市老連主催研修会に多くのリーダーの参加を呼びかけ、クラブ・校区の課題を共有します。会員増強報償金を受けたクラブの事例は関心の高いテーマです。

人気のある行事は、その都度地元新聞・ケーブルテレビ等で積極的に広報して、クラブ活動に関心を持ってもらい、楽しい活動を大いに宣伝します。



菖蒲鑑賞ウォーク

以上のように、市老連、校区老連、単位クラブそれぞれの努力で、会員増強運動は少しずつ成果が見られるようになっていますが、単位クラブでは若手会員が入らない、役員のなり手がないうなど、毎年綱渡りが続いています。自治会の応援で会長後継者の発掘ができた例もあり、直面している問題を積極的に投げかけることで解決の糸口になっています。市老連も市と今まで以上に意思疎通を図り、クラブ未設置地区への働きかけやクラブの復活に支援を求めています。

(事務局長 玉田正代)

